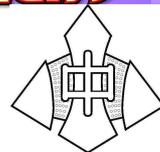


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年4月14日(水)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

“ようこそ！小原田中へ 84名の新入生”

今年度最初の生徒会行事『新入生歓迎会』開催される

4月8日(木)には、今年度最初の生徒会行事である「新入生歓迎会」が実施されました。昨年度はコロナの影響により放送で行った歓迎会でしたが、今年度は全校生が体育館に一堂に会して実施することができました。吹奏楽部の演奏にのって新入生が入場し会が始まりました。はじめに2・3年生が3年近藤凧さんの伴奏により校歌を披露しました。そして、生徒会副会長の古川明花さんが“歓迎のことば”を述べました。

生徒会活動の紹介では生徒会役員が整列し、1人ずつ自己紹介した後、生徒会についての説明がありました。



生徒会とは、「学校生活をよりよくしていくこと」を目標にしている小原田中の生徒全員が所属する組織のことです。本部役員は会長1名、副会長2名、書記3名、会計3名の計9名ですが、この9名はあくまでも「役員」です。生徒会は小原田中の生徒全員による自治組織であり、全校生が委員会などに所属し、いろいろな仕事を分担することによって学校生活が営まれています。つまり、生徒一人一人が生徒会活動に力を入れることで、小原田中がより生活しやすく活気のある学校になっていきます。今年度の生徒会は、生徒一人一人が明るく楽しい学校生活を送れるように活動していきます。そのため、毎朝、あいさつ運動を行い、毎週月曜と金曜に昼の放送で週間放送を行います。また生徒会活動のスローガンとして『温故知新』を掲げました。この意味は「伝統を引き継ぎつつ、新しいことに挑戦する」ことです。このスローガンを意識して活動していきます。そして、現在、生徒会本部が力を入れていることが、小原田中を“生徒全員が楽しく登校できる学校”にするということです。そのためにイベントなどの企画を考えています。コロナの影響がいつまで続くかはわかりませんが、新入生の皆さんと楽しく生活できるように頑張ります。

～歓迎会要項より～



野球部



サッカー部



男子ソフトテニス部



女子ソフトテニス部

生徒会本部に続き、専門委員会・特別委員会の仕事の内容について、各委員長から説明がありました。本部はもちろん専門委員会の活動が活発な学校には活気があります。知恵と工夫を結集させた自主的な活動を期待しています。

次に部活動の紹介が行われました。各部ともに実演やパフォーマンスなどをまじえたり、時には笑いをとったりするなど工夫した紹介を行いました。顧問の先生方の紹介もあり、元気よく返事する先生や実演に加わる先生もあり、盛り上がりを見せました。

1年生は、どの部の発表にもよく反応し、興味津々の様子でした。よく考え、自分を生かせる部を選んでほしいと思います。(→裏面へ続く)



生徒会本部と専門委員会の説明



部活動紹介の後には、応援団が登場し、手拍子、エール、“レッツ・ゴー！”の応援を披露しました。1年生にとっては、応援団の演舞を見るのは初めての経験だったので、驚いた生徒もいたと思います。応援団の熱いエールが1年生にしっかりと届きました。

最後に1年生を代表して、館さくらさんが“お礼のことは”を述べました。会は終了し、新入生退場時も吹奏楽部の演奏が花を添えてくれました。

「やはり歓迎会はこうでなきゃ！」

今回は、久しぶりに歓迎会の雰囲気を楽しめることができました。1年生は、2・3年生の想いをしっかりと受け止め、名実ともに小原田中生の一員となつてほしいと思います。歓迎会の準備・運営にあたってくれたすべての生徒に感謝します。ご苦労さまでした。



バレーボール部



男子バスケ部



女子バスケ部



男子卓球部



女子卓球部



剣道部



美術部



パソコン部



興味津々の1年生



吹奏楽部



お礼のことは



応援団によるエール等

『友垣』の意味

本校の文化祭は「友垣祭」と命名されています。また、この「友垣」は、特別支援学級の名前にも使われています。そして、これらのもとになっているのが校歌2番の歌詞にある「友垣」です。ちなみにこの「友垣」はあの有名な童謡である『ふるさと』の歌詞にも登場します。

“如何にいます父母

つつがなしや友がき”

「友垣」の意味は、「交わりを結ぶこと」を垣根を結ぶのにたとえていった言葉で、意味は「友だち」や「友」を指しています。何気なく使ったり、歌ったりしていた「友垣」という言葉、よく考えてみ

ると、温かい気持ちになる素敵な言葉です。そして、“垣根のように固く結ばれた友・友だち・仲間”とともに、互いを認め合い・支え合い・磨き合いながら、この小原田中学校を自他ともに誇りの持てる学校へと高めてほしいと考えています。

給食がスタートしました!! “食品ロス”を少なくする努力を!

4月13日(火)から給食がスタートしました。中学校の給食は、富久山町と片平町にある中学校給食センターで作られ、各学校配送されます。本校の給食は富久山町から来ます。1食365円という低予算の中で、材料へのこだわりやおいしく食べてもらうためのこだわりをもって、安全でおいしい給食を提供していただいています。しかしながら、2・3年生は知っているはずですが、本校は給食の残食量が多く、学校の課題となっています。世界規模の問題となっている“食品ロス”についての認識を深めていく必要があります。1年生は、まずは配膳や後片付け等、中学校の給食のやり方を習得し慣れることが大事ですが、各学級において、食材の取り分けや配膳等を工夫するなど、少しでも食べ残しが減らせるよう努力してほしい。そして、給食の準備・後片付けの早さや正確さは、その学級のチームワークや団結力などの“学級の力”を測る大切な要素の一つであるということを知ってほしいと思います。

1年生の配膳の様子

